社会資本総合整備計画　　中間評価書

計画の名称	茅ヶ崎市みどりの保全等事業		
計画の期間	平成３１年度　～　令和０５年度　(5年間)	重点配分対象の該当	○
交付対象	茅ヶ崎市		
計画の目標	「みどり」は、様々な生きものの生息・生育環境として豊かな生態系を形成しているほか、環境保全機能、レクリエーション機能、防災・減災機能、景観形成機能等の多様な機能を有しています。 茅ヶ崎市みどりの基本計画では「人と生きものが共生するみどりのネットワーク」を将来像とし、私たちの生活と生物多様性を支えるみどりを次世代へ引き継ぐため、みどりの保全・創出に取り組むとしています。 基本方針の一つである「生きものが生息・生育するみどりの確保」という観点のもと、特別緑地保全地区内における行為の不許可処分に伴う買入れ等、必要に応じ緑地の保全を行います。		

全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	57	A	57	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H31当初）	（H33末）	（H35末）
1	特別緑地保全地区において、当該緑地の保全上必要がある場合に土地の買入れを行い、市有緑地面積を5%増加させる。			
	市有緑地面積／特別緑地保全地区面積	16%	18%	21%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） H31	R02	R03	R04	R05	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	茅ヶ崎市	直接	茅ヶ崎市	－	－	茅ヶ崎市緑地保全等事業（清水谷緑地）	土地の買い入れ（0.12ha，1地区）	茅ヶ崎市	■	■	■	■	■	21		－
	A12-002	公園	一般	茅ヶ崎市	直接	茅ヶ崎市	－	－	茅ヶ崎市緑地保全等事業（赤羽根字十三図周辺緑地）	土地の買い入れ（0.17ha，1地区）	茅ヶ崎市	■	■	■	■	■	36		－
											小計						57		
											合計						57		

案件番号：

中　間　評　価

○中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
茅ヶ崎市	令和４年３月
	公表の方法
	茅ヶ崎市ホームページに記載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・特別緑地保全地区内の買入れを行い、市有緑地面積が0.22ha増加した。 ・このことにより、特別緑地保全地区に対する市有緑地面積は、中間目標値(18%)よりも1%上回る19%となった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	本市の「茅ヶ崎市みどりの基本計画　生物多様性ちがさき戦略」に掲げているみどりの将来像を実現化するうえで、特に生物多様性の保全に寄与する生態系ネットワークの核(コア)となる重要度の高い自然環境がある区域を特別緑地保全地区として指定している。この特別緑地保全地区のうち、市有緑地面積を当初の計画時よりも3%増加することができた。これにより市民による日頃の保全活動や、小中学校の課外学習などの自然環境の仕組みや生きものの生態を学ぶ場として資するなど、今後とも生物多様性の保全や学習、さまざまな生きものの生育・生息場所の拠点として効果も期待できる。

○特記事項（今後の方針等）

・引続き、特別緑地保全地区内の緑地の買入れを行う。
・今後、社会資本総合整備計画の継続を検討するにあたり、中間評価を踏まえて指標のあり方や目標値などを検討する必要がある。

案件番号：

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	市有緑地面積を計測する。（市有緑地面積/特別緑地保全地区面積）		
	中　間 目標値	18%	土地の買入れが多かったため、実績値が目標値より1%上回る結果となった。
	中　間 実績値	19%	

案件番号：